

船井情報科学振興財団 留学報告書

2014年11月

荒木 淳

1. はじめに

私は、2012年8月よりカーネギーメロン大学コンピュータサイエンス学部言語技術研究所 (The Language Technologies Institute of the School of Computer Science at Carnegie Mellon University) の博士課程に在籍しています。今年7月にビザ更新のために日本に一時帰国したのですが、その際7/26(土)に東京大学本郷キャンパスで開催された海外大学院留学説明会にパネリストとして参加させていただく機会がありました。これは私は予期しておらず少々驚いたのですが、その説明会では現役の学部生や院生だけでなく、社会人と思われる方も数多く見受けられました。幾人かのそのような方々からの真摯な質問からは、忙しい合間を縫って留学準備のための時間を捻出している姿が想像でき、質問に答えながら自分が同じようにして留学準備をしていた2008年頃のことを思い出しました。そのような方々に対して専攻分野を跨いで私から広く共有できることの一つはやはり英語だと思うので、本報告書では私の第3回留学報告書(2013年11月)の続きとして、そこではあまり触れなかった英語学習ツールについて触れたいと思います。これも私の個人的な見解に過ぎないことを付け加えておきます。

2. 英語学習ツール

第3回留学報告書でも述べたように、英語力というのは個々人の目標によってその定義は様々かと思いますが、ここでは英語運用のためのリスニング、スピーキング、リーディング、ライティングから成る総合能力と定義します。その第3回留学報告書では、これらの能力と基礎知識の間の関係に焦点を当てました。詳細はその報告書を参照してください。今回は、最近の教育用ツールを能力別に紹介したいと思います。これらもあくまで私の個人的な見解です。

ボキャブラリ (語彙)

Quizlet (<http://quizlet.com/>) ; 単語カード (flash card) とそれに付随する学習用ゲームが充実しているボキャブラリ学習サイトです。入力した語の音声を聴くことも可能です。音声体系を学ぶのにも役立つと思います。

Vocabulary Levels Test (<http://www.lexutor.ca/tests/levels/productive/>) ; 様々なレベルの単語テストが用意されています。

サウンドシステム (音声体系)

Sounds of Speech (<http://www.uiowa.edu/~acadtech/phonetics/english/english.html>) ; 英語の各音素の発音方法と単語例が網羅されています。

リーディング

Timed Reading

(http://college.cengage.com/collegesurvival/watkins/learning_companion/1e/students/timed_reading.html) ; 文章を時間を測って読み、その後に読解問題を解くという形式です。

リスニング/スピーキング

映画 DVD ; あらすじがある程度分かった映画を英語で見ると、リスニングに集中することができます。英語学習の観点ではアクションが少なく、会話が多い映画がおすすめです。

elllo (<http://www.elllo.org/>) ; 世界中の人々がインタビュー形式で数分程度の話をするという会話コンテンツが中心です。コンテンツはトピック、話者の出身国やレベルごとに選ぶことができます。スクリプトや話の内容や語彙についてのクイズが付いています。

TED (<http://www.ted.com/>) ; 各界の著名人などが形式にとられない自由なスタイルでプレゼンテーションを披露します。分野は幅広く、コンテンツは分野ごとに整理されています。また、複数の言語に対応したスクリプトや字幕が付いているのが特徴です。

ライティング

Lang-8 (<http://lang-8.com/>) ; 母国語以外の言語で書いた文章をネイティブが添削し合うという添削交換に基づいたサービスです。

その他

Learning English on Your Own (<http://web.stanford.edu/~efs/689e/>) ; Stanford University の ESL プログラム (EFS: English for Foreign Students) で開講されているクラスの一つです。上記のツール以外にも、様々なツールが紹介されています。

Coursera (<https://www.coursera.org/>) ; 最近急増している Massive Open Online Courses (MOOCs) サイトの一つです。基本的にスクリプトも付いており、興味のある分野の授業を直接英語で聞くというのもリスニングに効果があると思います。

Duolingo (<https://www.duolingo.com/>) ; 文書翻訳をベースとして、ライティングと書き取り (ディクテーション) の練習が豊富に用意されています。

4. おわりに

この報告書では英語学習ツールをいくつか紹介しました。英語学習ツールも玉石混交で、これら以外にも良いツールはあると思います。全般的にはこれらのツールにも自然淘汰の原理が働いているようで、例えば以前はスクリプトが用意されていたのが用意されなくなっていたり、その一方でさらに良いコンテンツを持った新しいツールが生み出されたりしています。もちろんツールはあくまでツールであって、英語学習であればやはり英語圏の中で自らの経験を通して学んだことの価値というものは大きいはずですが、しかしながら、日本のような非英語圏に居ながらにして限られた資源 (時間やお金) の中で英語学習の助けにするという目的においては、これらのツールを活用しない手はないように思います。